

【温泉下林地区】『復興まちづくりの方向(修正案)』について ～第4・5回懇談会の意見概要②～

□は方向案の柱です。黄色網掛け箇所が第4・5回地区別懇談会における参加者の主な意見です(※決まった内容や事実確認をした内容ではありません)。

温泉下林地区 復興まちづくりの方向(修正案)

取組みの柱		具体的取組み(案)
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生	【住まい再建】	☐ 安全性を高める建て方の誘導 ・水害の経験により、建築して良いか迷う。将来ビジョンが必要。 ・宅地はそのまま道路だけ嵩上げするのなら反対(宅地は各自でするしかないのか)。 ・市の出張相談窓口を設置し、担当部署へつなぐ仕組みがあると良い。 ・治水対策による安全性をもっとアピールしないと、人は帰ってこない。
	【コミュニティ再生】	☐ コミュニティの核としての集会所の再建 ・300坪の土地の寄附話があり、コミュニティの場の再建に活用し避難所としての活用も考慮する。 ・災害前、老人福祉センターは高齢者の拠点となっていた。施設を充実させ(避難所兼温泉場・娯楽場)、3階建にすれば、温泉町に人が来て潤うのではないか。 ・避難タワーではなく、温泉を活かしてコミュニティ施設として整備すれば良いのではないか。行政が整備し、地元が運営すれば有効な施設になるのではないか。 ・集会所は他の場所に再建するよりも今の場所の方が近く、人も集まりやすく逃げやすい。 ・空き地になっている所を手入れし、景観、まちなみづくりにつなげる。 ・市下水道課がグラウンドゴルフ場を復旧したが不十分で、ボランティアに泥やゴミの除去をお願いしている。もっときれいにしてほしい。 ・地域行事に関連付けた自主防災組織の強化・活動の活性化。
②力強い地域経済の再生	【生業再建】	☐ 観光資源としての温泉の復活 ・温泉町には温泉を作ってほしい。泉源は温泉神社にある。下林町、中林町の人からも「温泉町に温泉を復活させてほしい」という声がある(今は温泉町の持ち物ではない)。 ☐ 農地の再生 ・圃場整備と合わせて、避難路整備や避難場所の整備ができると良いのではないか。 ・農道の拡幅整備も、できるのではないか。 ・田んぼの空いているところに盛土して避難タワーや高台を作ってはどうか。 ・農地復旧は効率的にすべき。農地整備との調整を早くするべき。地権者への説明会を行い、協力を求めている。
③災害に負けないまちづくり	【避難対策】	☐ 村山公園への避難路の整備 ・建築中のアパートが道路際まで来ており、通行に支障が出るのではないか。 ・農業用水路に「蓋を掛け道が広がる」と約20年前に市から聞いたが、蓋は未だ掛かかっていない。どうなっているのか。 ・宅地や道路の舗装は浸透するもの(透水性舗装)を周知・啓発するべきではないか。 ☐ 安全な避難場所の整備 ・避難時に川沿いには行きたくない。 ・避難タワーはバリアフリーを考えるとスロープだけでなく、エレベーターやリフトも必要となるのではないか。 ・3階建コミュニティ施設を作るのは良いが、避難タワーは賛成ではない。 ・「水が来るまで」、「水が来てから」に分けて避難を考える。早く避難するため道路を拓ける。 ・緊急避難所としての利用に関わる覚書締結(林保育園や堤病院などと)。 ※避難タワーに求められる機能の整理・理解促進 ・車を使って避難する際の避難所の確保(直売所、ニシムタ、中原小などの利用)。 ☐ 防災情報の伝達機能強化 ・情報提供が重要。市からの情報がないと行動しない人もいる。 ☐ 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成 ・ライフジャケットを市民に配布してはどうか。 ・早く(前日から)逃げる。車椅子や寝たきりの人を避難させる人を決めておく(名簿事前作成)。 ・市の出前講座(防災関連講座)の活用、防災意識の醸成(早期の避難行動)。
	【治水・土砂災害対策】	☐ 小河川の氾濫対策の推進・促進 ・ポンプ場で小河川の水を拾う。支川(福川、出水川)の土砂撤去。 ☐ 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・堤防対策の明文化。安心の目安としてビジョンを示してほしい。 ・比較的古くにできた堤防を修復・更新できると良い。 ・如何に早く、まちが球磨川に浸からないようにするかが重要。
	【復興まちづくり】	

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
 〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
 Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
 E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

地区別懇談会だより

Vol.3

温泉下林地区

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会(温泉町:第4・5回、中林町・下林町:第4回)』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。

温泉下林地区の**対象地区は、中林町、下林町、温泉町**です。

◆第4回地区別懇談会(温泉町、中林町・下林町)

- 1 治水対策に関する国・県からの説明(温泉町のみ)
- 2 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向案(更新案)について
- 3 地区ごとの話し合いと全体共有
 - ・復興まちづくりの具体的なイメージや手法について
- 4 今後の進め方について



7月8日(木)、29日(木)両日18時から、町内会長宅で開催しました。(参加人数:20名、22名)

◆第5回地区別懇談会(温泉町)

- 1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向(修正案)について
- 2 地区ごとの話し合いと全体共有
 - ・復興まちづくりの具体的な取組み方向案について
- 3 今後の進め方について



7月29日(木)18時から、中原コミュニティセンターで開催しました。(参加人数:9名)

復興まちづくり計画の策定に向けて

地区別懇談会での検討をもとに、10月頃を目途に具体的な復興まちづくりの取組をまとめた「復興まちづくり計画」を策定します。

◆地区別懇談会の参加方法

- ・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
- ※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただきます。
- ・参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。多くの方のご参加をお待ちしております。

◆地区別懇談会の進め方

次回の開催予定 **中林町・下林町:第5回 9月15日(水)18時30分より 中原コミュニティセンター**
温泉町:第6回 9月15日(水)18時30分より 町内会長宅

※温泉町では懇談会の前に「まち歩き」(1時間程度)をします。
 参加可能な方は16時30分に町内会長宅に集合してください。

次回のテーマ予定:復興まちづくり計画(素案)について

(注)地区別懇談会については、新型コロナウイルス感染症の状況等で、変更する場合があります。

◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を示すものです。
- ・特に被害の大きい特定地域(重点地区)などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主役の計画づくりに対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間。(令和3年度からの一部実施も想定)
- ・本計画に基づき、関係者調整含めた精査や具体化検討を進め、段階的な実現をめざします。

参加
募集中



- 道路の拡張は全部できるのか？
- ハード整備はコストも必要なので、一番必要な整備をする。
- ソフト整備は避難支援名簿を作り、逃げることを決める。
- 万江川の水が増える前に、早期避難で中原小学校や原田万葉公園へ避難したい。
- イチョウの木の枯葉が溜る。
- 道路が狭くさらにカーブし見通しが悪く、離合のために、かなり下がって待機する必要がある。
- 市が早く方針を示さないと、老人福祉センター周辺一帯の土地が民間事業者のものになってしまうのではないかと心配。
- 道路際に建物を建てる建設工事が始まっており、通行に支障を来すことになるのではないかと心配。
- 温泉施設は残してほしい。地元で管理できると良い。
- 放送用マイク設備がここにある。逃げられなくなった時に避難できるようにしておくと良い。
- 翠嵐楼には大型バスが出入りする。球磨川下りのバス・トラックも出入りする。道路が狭いと右往左往する。
- 道路廃止。廃止した分を新設道路用地に充てる。
- 「土地を観音堂に寄附しても良い」という話があり、これを使うと道路を現状の約 1.5m から約 2～3m に拡張できる。
- 日本財団の「みんなの家」をつくり、桜の木を植えたい。
- オキナザクラが 300 株くらいあった。全滅したが再生したい。
- 橋の幅員が狭い。
- 道路より土地が低く、土手になっていて自動車が脱輪する。農地の地権者と話をし、道路との境界部に立ち上りをきっちり整備してほしい。

温泉下林地区(温泉町) 復興まちづくりのイメージ(案)

■道路だけでなく、用水路整備も必要になる。

避難場所候補地

区画整理なら
道路拡幅できたのでは？

温泉神社
(源泉)。

逃げたルート。

避難場所整備

避難路整備

高台

こちらから水が来た。

グラウンドゴルフ場

排水機場整備

翠嵐楼

観音堂
(新設)

多目的施設
(既存施設再考の検討)

排水機場耐水化

排水機場整備

中神町

1:2,500

0.5 km

凡例

- 河川整備方針の確認
- 避難路(現況)
- 避難路整備
- 避難場所、避難所
- 避難タワー

■堤防の差がある所から湧出した

■球磨川と同じ堤防高にできると良い。球磨川より 1.5m低い。

温泉下林地区(中林町・下林町) 復興まちづくりのイメージ(案):避難場所

凡例

- 避難路 (現況)
- 避難路整備
- 避難場所、避難所
- 安全な避難場所
- 河川の危険箇所/整備検討
- 河川整備方針の確認

■車の避難に活用。
(ニシムタ、ダイナム、中原小など)

【市街地の浸水対策】
堤防強化、遊水池、放水路などととも、建物1階ビロティ化、建物構造耐水化などを推進。

【避難路の整備】
地区の幹線道路の災害耐性を向上、河岸側から山手に向かうネットワークとして、避難路を整備。

【緊急避難場所の整備】
新たな都市計画公園を整備

【カルチャーバレス】
防災拠点としての安全性、機能拡充を推進

■車の避難に活用。
(ニシムタ、ダイナム、中原小など)

[illegible]

■スポーツパレス駐車場
駐車場の透水性を上げる。